2025 年 5 月 15 日、柴田大使は、元文部科学省国費留学生及び ABE イニシアティブ修了生を大使公邸にお迎えしたレセプションを開催しました。このレセプションの目的は、日本とエチオピアの架け橋となる帰国留学生同士の繋がりを強化することです。柴田大使は、エチオピア社会の様々な分野で活躍する 83 名を超える元留学生、修了生に向けて「大使館の最も重要な任務の一つは、人的交流の維持・発展、特に国費留学生やアベイニシアティブ生との関係強化、ネットワーク強化への取り組みを支援することです」と述べた上で、本年のレセプションに昨年より多くの方の参加を得ており、今後のさらなる発展を期待していると挨拶しました。

イベントには、元国費留学生であり、外務副大臣、高等教育副大臣を歴任し、現在はハンセン研究所所長を務めるアフェウォルク・カッサ教授が積極的に関与しました。アフェウォルク教授は、スピーチの中で帰国留学生に対し、日本とエチオピアの絆を深める橋渡し役となるよう訴えた上で、日本の労働倫理と礼儀正しさをエチオピアでの職務遂行に取り入れるべきとアドバイスしました。

また、同じく元国費留学生であるエチオピア人民代表議会議員で、水・灌漑・低地開発・環境問題常任委員会副委員長を務めるアウォケ・アムザイエ博士も、この行事に参加しました。ガンベラ市副市長で元国費留学生のオジュニ・オチャン・ドルギ氏は、ガンベラ州から遠路はるばる出向いて下さいました。

文部科学省国費留学と ABE イニシアティブからの帰国留学生 2 名が、日本での生活と研究についてプレゼンテーションを行い、活発な質疑応答が交わされました。

柴田大使

アフェウォルク所長

プレゼンターションに聞き入る参加者

ガンベラ市副市長との柴田大使